

国立研究開発法人国立環境研究所
契約監視委員会（第26回）議事概要

1. 日時

令和5年12月4日（月）15:30～17:30

2. 場所

AP秋葉原4階Jルーム（オンライン会議併用）

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

小田部 典子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）

野村 豊弘（日本エネルギー法研究所 理事長）

古米 弘明（中央大学研究開発機構 機構教授）（オンライン参画）

矢野 奈保子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

4. 開会

議事に先立ち、高澤理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

(1) 前回議事概要の報告について

(2) 会計検査院が処置要求した事項の結果について

(3) 令和5年度上半期の随意契約について（抽出審査2件）

(4) 令和5年度上半期の一者応札・応募事案について（抽出審査1件）

(5) 令和5年度上半期の特例随意契約について（抽出審査1件）

(6) 令和6年度における特例随意契約の実施（事前承認）について

(7) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の報告について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 会計検査院が処置要求した事項の結果について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(3) 令和5年度上半期の随意契約について

令和5年4月1日から令和5年9月30日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件（64件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された2件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査1（DSRS-C バールソン児童用抑うつ性尺度使用料 1式）

➤ 特段の指摘事項なし。

○抽出審査2（令和5年度「第20回アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ(WGIA20)」開催に係る会場等の賃貸借及びサービスの提供）

- 会議運営業務に係る研究者の負担を軽減し研究に専念する観点から、招へい者に係る旅費の支払い業務も含めアウトソーシングできないか検討すること。

(4) 令和5年度上半期の一者応札・応募事案について

令和5年4月1日から令和5年9月30日までに契約締結した案件のうち、前年度（複数年契約を行っている案件については前回契約）に引き続き一者応札・応募となった案件（52件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○令和5年度上半期（4月～9月）一者応札・応募案件一覧

- 派遣業務のうち一般事務及び会計事務については、更なる一者応札の低減に資する取組を行うこと。

○抽出審査3（令和5年度論文の質等の評価に関するデータの作成業務）

- 特段の指摘事項なし。

(5) 令和5年度上半期の特例随意契約について

令和5年4月1日から令和5年9月30日までに契約締結した案件のうち、特例随意契約案件（75件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査4（令和5年度放射線健康不安にかかるマスメディア報道とその世論への影響に関する調査研究業務）

- 特段の指摘事項なし。なお、競争参加資格の等級の設定に当たっては、競争性の向上に寄与すると認められる場合は、「A」～「D」の全等級を設定すること。

○抽出方法について

- 特例随意契約の点検対象の抽出方法を明文化すべきではないか。
→ 次回の委員会で議論することとなった。

(6) 令和6年度における特例随意契約の実施（事前承認）について

事務局より資料に基づき説明が行われ、令和6年度の特例随意契約の実施について承認された。

(7) その他

- ・ 次回の委員会は来年6月ごろに開催予定。
- ・ 結びとして事務局より、議事概要、一者応札・応募等事案フォローアップ票及び特例随意契約事案フォローアップ票について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページにおいて公表することを報告した。